

11 月 12 日 : 大型株の中でも明暗が分かれる中で、指数は上昇

指数は引けにかけて買い戻されたが、わずかな上昇にとどまった。銘柄によってばらつきのある動きとなった。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.16% 上昇し、1018.33 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2 億 2300 万株で売買代金は 4.6 兆ドンであった。

同指数は直近 3 営業日で 0.8% ほど下落していた。

3 営業日連続の調整の後に、VN 指数は一部の銘柄の上昇で反発した。ベトナム投資開発銀行 (BID) (+1.9%)、ベトコムバンク (VCB) (+0.4%)。ペトロベトナムガス (GAS) (+0.7%)、マッサングループ (MSN) (+0.7%)、ペトロリメックス (PLX) (+0.8%)、ホアファットグループ (HPG) (+0.9%)、ベトジェット航空 (VJC) (+0.5%)、ベティンバンク (CTG) (+0.2%)、モバイルワールドインベストメント (MWG) (+0.3%) などが上昇銘柄だった。

一方、ビナミルク (VNM) (-1.4%)、ビンホームズ (VHM) (-0.9%)、VP バンク (VPB) (-1.1%)、軍隊商業銀行 (MBB) (-0.6%)、カンディエンハウス (KDH) (-2.1%)、ハノイビール (BHN) (-0.5%) などは下落した。

バオベト証券によると、米中の第一段階の合意に近づいたとの期待が投資家心理を改善させ、米ドルを大幅高させた。

一方、安全資産の金、日本円、スイスフランなどは下落圧力にさらされた。

しかしながら、貿易戦争の改善というのは、投資家の期待を下回る物になるかもしれない。中国は米国にすべての中国製品への関税を撤廃して欲しいが、ドナルドトランプ大統領は国内の政敵や中国に反対する層からの反発を受けると予想される。

VN 指数は 1005-1015 ポイントから 1024-1029 ポイントで上下すると予想されている。目先の強い抵抗線は 1036-1042 ポイントとなっている。

セクターごとにばらつきのある動きになると予想され、世界市場の影響を受けることになるだろうとバオベト証券は予想した。大型株と銀行株が短期的には主役になるだろう。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.19% 上昇し、106.96 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2480 万株で売買代金にして 2811 億ドンであった。

ハノイ取引所の大型株で上昇したのは、ビコストーン (VCS) (+0.7%)、ビナコネックス (VCG) (+0.7%) などであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。